

愛は血の色



ジュード・ロウ主演 クロコダイルの涙
The Wisdom of Crocodiles

ZENITH PRODUCTIONS, GOLDWYN FILMS, FILM FOUNDRY PARTNERS & ENTERTAINMENT FILM DISTRIBUTORS
IN ASSOCIATION WITH THE ARTS COUNCIL OF ENGLAND

PRESENT A ZENITH FILM JUDE LAW ELINA LOWENSOHN TIMOTHY SPALL IN THE WISDOM OF CROCODILES

WITH KERRY FOX JACK DAVENPORT COLIN SALMON

DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY OLIVER CURTIS B.S.C. EDITOR ROBIN SALES PRODUCTION DESIGN ANDY HARRIS

ORIGINAL MUSIC JOHN LUNN & ORLANDO GOUGH

COSTUME DESIGN ANNA SHEPPARD LINE PRODUCER LAURA JULIAN

CASTING MICHELLE GUISH EXECUTIVE PRODUCERS SCOTT MEEK, DOROTHY BERWIN AND NIGEL STAFFORD-CLARK

SCREENPLAY BY PAUL HOFFMAN

PRODUCED BY DAVID LASCELLES & CAROLYN CHOA DIRECTED BY PO CHIH LEONG

1999年ブリュッセル国際ファンタジー映画祭／ヨーロッパ最優秀ファンタジー映画賞受賞



愛されなければ、生きられない 殺さなければ、愛せない

自分を愛しすぎるものは、往々にして不幸になる

『ガタカ』、『オスカー・ワイルド』などで一躍イギリスを代表する若手スターとして認められ、今年のアカデミー賞では『リブリー』で見事助演男優賞にノミネートを果たしたジュード・ロウ。彼の妖しくもミステリアスな魅力が存分に開花しているのが、この『クロコダイルの涙』である。

美貌の青年医師スティーヴンには秘密があった。自分を愛してくれる女性の血を吸わないと死んでしまうのだ。彼は次々と女性を誘惑しては完全犯罪を重ねていくが、不審な死体遺棄事件を追うヒーリー警部が、スティーヴンの身边に執拗に探り始める。そんな時、新しい獲物アンが現れた。不思議な魅力を持つ彼女に、スティーヴンはいつしか心から惹かれていくが。

究極の愛の物語、永遠の寓話

原題のThe Wisdom of Crocodilesつまり“鱷(クロコダイル)の叡知(分別)”とは、哲学者フランシス・ベーコン(1561～1626)の随筆集からの引用で、鱷(クロコダイル)が獲物を食らうときに罪悪感を拭おうと涙を流してみせるような知恵・分別＝自己愛を戒めるもの。自分を愛しすぎるものは往々にして不幸になる。スティーヴンは感情を知らない人間で、愛も結晶という形でしか認識できない。彼は生き永らえるために自分を愛してくれる女性の血を、真に自分を癒してくれる完璧な愛を求めている。だがアンと出会い本当の愛を感じたとき、彼は皮肉にもその感情によって苦しめられる。愛する人と自分の命、最後の瞬間にどちらを選ぶべきか? これは愛と生についての究極の物語、永遠の寓話なのである。

今、最も美しい輝きを放つジュード・ロウ主演

主演は、今最もセクシーな俳優ジュード・ロウ。クールな気品と危険な香りを同時に放つ存在感は、まさにはまり役。美しいだけでなく内面に広がる闇の深遠さをも同時に体現できるのは、彼を置いて他にはいないだろう。対するヒロインのアンには、『バスキア』、『愛・アマチュア』のエリナ・レーヴェンゾーン。感情を知らなかったスティーヴンの心を揺り動かす存在として、現代女性の強さを演じている。スティーヴンを追うヒーリー警部に『秘密と嘘』の実力派ティモシー・スボール。若き刑事ロッシュは、『リブリー』でもジュード・ロウと共演した注目株ジャック・ダヴェンポート。スティーヴンの餌食になるマリアに『エンジェル・アット・マイ・テーブル』、『シャロウ・グレイブ』のケリー・フォックス。

現代のロンドンが舞台だが、いつの時代でも、どこでもないような不思議なシチュエーション。このダーク・ファンタジー的な世界観を具現化したのは『風の輝く朝に』のレオン・ポーチ監督。脚本はこれが処女作となるボール・ホフマン。衣装は『シンドラーのリスト』などハリウッドでも活躍するアナ・シバド。プロダクション・デザインは『ヘルレイザー2』のアンディ・ハリス。モダンと古風が見事に融合し、幻想的な雰囲気醸成している。

1999年ブリュッセル国際ファンタジー映画祭／ヨーロッパ最優秀ファンタジー映画賞受賞

監督:レオン・ポーチ/脚本:ボール・ホフマン/撮影:オリヴァー・カーティス/プロダクション・デザイン:アンディ・ハリス/出演:ジュード・ロウ、エリナ・レーヴェンゾーン、ティモシー・スボール、ケリー・フォックス、ジャック・ダヴェンポート/1998年イギリス/ゼニス・プロダクション=ゴールドウィン・フィルムズ=フィルム・ファウンダリー=パートナーズ=エンタテインメント・フィルム・ディストリビュータース作品/カラー/ヴィスタ/1時間35分/ドルビーSRD/日本語字幕:松浦美奈/提供:アスミック・エースエンタテインメント、角川書店/配給:アスミック・エース www.asmik-ace.co.jp



11月25日よりロードショー!! (上映終了日は劇場に
お問合せ下さい。)

*** 前売鑑賞券1,500円好評発売中!** (当日一般
1,800円の処)

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット、各PGにて発売中!

劇場窓口でお買い上げの方に、ジュード・ロウの特製
ポスターをプレゼント!! 先着限定です、お早めに!!

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田ガーデンシネマ

連日 12:30 | 2:35 | 4:40 | 6:45

* 12/1(水)のみam10:25の回も上映。

JR大阪駅 中央北口 御堂筋線 梅田駅

http://www.cineplex.co.jp